

申26号

## 2016年3月ダイヤ改正等に関する申し入れ

2016年3月のダイヤ改正は「北海道新幹線」新函館北斗開業による「鉄道ネットワークの拡充」及び「北陸新幹線」・「上野東京ライン」開業後のご利用状況を踏まえた「輸送体系のフラッシュアップ」を図ることが主旨となっています。

2015年3月ダイヤ改正で開業した北陸新幹線および上野・東京ラインの検証を確実に実施し、今ダイヤ改正に反映されなければなりません。また、サービス品質の低下を招く施策は実施すべきではないと考えます。関係する職場では、準備に全力を傾注しています。組合員からの問題点を解消するため職場で積み上げた検証議論をもとに交渉を行います。

### 申し入れ項目

1. 2015年度のダイヤ改正における課題を明らかにするとともに、2016年3月ダイヤ改正において課題克服に向けて、検証結果がどのように反映されているのか明らかにすること。
2. ダイヤ改正実施にあたっては、関係する社員、利用者には十分な説明をおこなうこと。また、行路作成、保守間合の確保、設備改修等万全な準備と体制を確立した上で実施すること。
3. 「北海道新幹線」新函館北斗開業に伴いJR北海道は青函トンネル内の列車火災等を想定し異常時訓練等を行っているがJR東日本としてJR北海道と連携し万全な体制を構築し安全性を高めること。
4. 上越・北陸新幹線の東京～高崎間の混雑率を平準化すること。
5. 首都圏、地方都市圏におけるダウンサイジング（ご利用状況に合わせた輸送力の適正化）の内容を具体的に明らかにすること。
6. 上野・東京ラインでダイヤ乱れが頻繁に発生する原因を明らかにし、混雑緩和と早期ダイヤ平復に向けた対策を講じること。また、グリーン車トイレの使用不能が多く発生していることから車両整備する間合いの確保と関係する車両センター内に設備を新設すること。
7. 「普通列車のグリーン車のアテンダント乗務区間の見直しについて」はNREの雇用問題、車内秩序の保持、車掌業務のあり方、不正乗車等の観点から「普通列車グリーン車の新たな業務体制に関する議事録確認（平成16年10月4日締結）」と議論経過を遵守し、施策の目的を確実に実行するために普通列車グリーン車の車内改札業務はJR本体で行うこと。
8. 上野・東京ラインにおける東京駅、新橋駅ホーム上の安全を確保すること。
9. 訪日外国人旅行者の増加により成田空港、空港第2ビル駅の出札窓口にて徒列が多発しているため、出札業務の体制を強化し徒列を解消すること。
10. 安全輸送を確保するために執務スペース、休憩室、休養室等を使用目的、作業実態に合わせ整備すること。
11. ダイヤ改正実施後は労使で検証し、問題等が発生した場合は労使が真摯に議論を行い、問題解決を図ること。

**安全、安定輸送確保のため、職場議論を巻き起こそう！**